八代生活環境事務組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

（令和４年度）

１．評価結果の総括

令和４年度（２０２２年度）における八代生活環境事務組合の事務・事業に係る「温室効果ガス総排出量」は、集計の結果、1,275t-CO_2となり、目標年度である令和１２年度（２０３０年度）の目標値（1,131t-CO_2）をやや上回りましたが、基準年度である平成２９年度（２０１７年度）の排出量1,528t-CO_2と比較して253t-CO_2の削減となりました。

削減の主な要因は、ごみ処理事業において平成３０年７月からごみ処理区域が縮小し、処理量が減少したことから稼動時間の短縮に伴う電力使用量の減少によるものです。

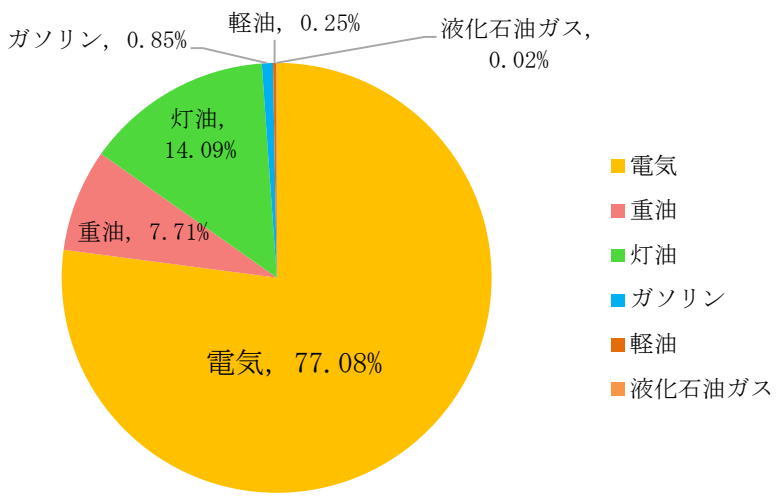
また、重油及び灯油につきましては、基準年度より排出量が増加しました。

２．温室効果ガス排出状況

表－１　エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」（２０２２年度）

（単位：t-CO_2）

温室効果ガス＼年度		2017年度	2022年度			2030年度	
		【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
				増減	削減率		
温室効果ガス総排出量		1,528.0	1,275.0	-253.0	16.6%	1,131.0	26.0%
	電気の使用	1,318.8	982.8	-336.0	25.5%	976.0	26.0%
	重油の使用	97.5	98.3	0.8	-0.8%	72.0	26.0%
	灯油の使用	94.0	179.7	85.7	-91.2%	70.0	26.0%
	ガソリンの使用	12.8	10.8	-2.0	15.6%	9.4	26.0%
	軽油の使用	4.0	3.1	-0.9	21.4%	3.0	26.0%
	液化石油ガスの使用	0.9	0.3	-0.6	67.7%	0.6	26.0%

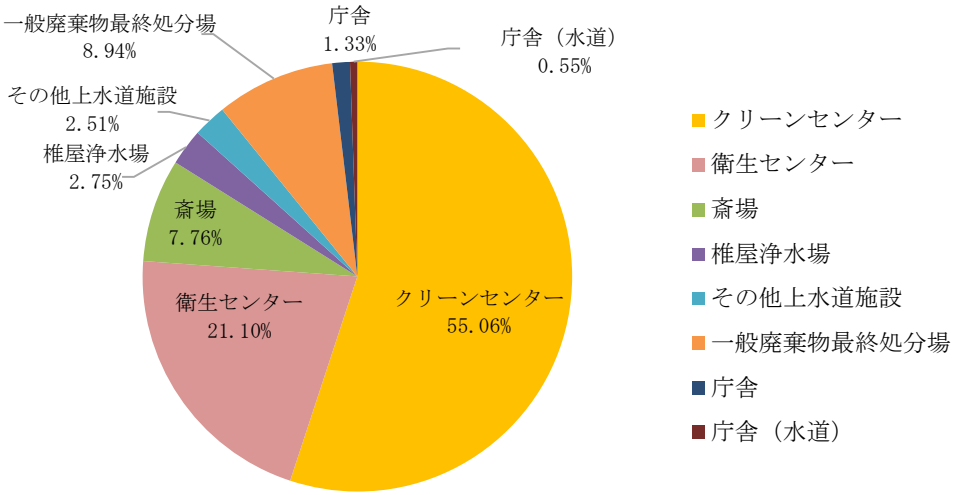


図－１　エネルギー種別「温室効果ガス総排出量」の割合（２０２２年度）

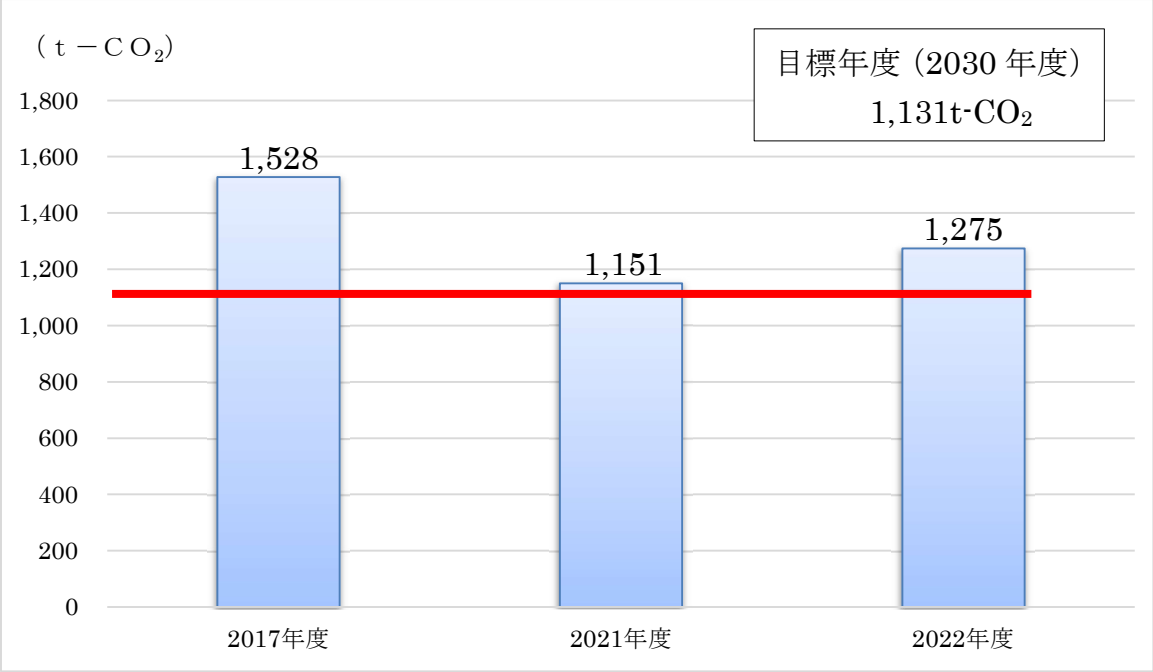
表-２　施設別「温室効果ガス総排出量」（２０２２年度）

（単位：t-CO_2）

事業＼年度		2017年度	2022年度			2030年度	
		【基準年度】	【実績値】	基準年度との比較		【目標排出量】	【目標削減率】
				増減	削減率		
施設名		1,528.0	1,275.0	-253.0	16.6%	1,131.0	26.0%
	クリーンセンター	946.0	702.0	-244.0	25.8%	700.0	26.0%
	衛生センター	308.0	269.0	-39.0	12.7%	228.0	26.0%
	斎場	96.0	99.0	3.0	-3.1%	71.0	26.0%
	椎屋浄水場	59.0	35.0	-24.0	40.7%	44.0	26.0%
	その他上水道施設	53.0	32.0	-21.0	39.6%	39.0	26.0%
	一般廃棄物最終処分場	39.0	114.0	75.0	-192.3%	29.0	26.0%
	庁舎	20.0	17.0	-3.0	15.0%	15.0	26.0%
	庁舎（水道）	7.0	7.0	0.0	0.0%	5.0	26.0%



図－２　施設別「温室効果ガス総排出量」の割合（２０２２年度）



図－３　温室効果ガス削減の進捗状況（２０２２年度）

３．今後の取組

八代生活環境事務組合の温室効果ガス総排出量のうち、77.08%（令和４年度実績）が電力の使用によるものです。近年の異常気象の影響による空調機器の使用頻度の増加に伴い、電力使用量の増加が予想されますが、適正な温度管理や休憩時間の照明消灯等の使用電力削減への取組を継続して行い、より一層の温室効果ガス排出抑制に努めてまいります。